美空春翔ら3連勝

紙相撲新聞
第151回本場所
初日～三日目号
編集・発行
日本紙相撲協会

新入幕千代鈴も期待に応え３連勝
若嶋、魁電は１勝２敗スタート

【第百五十一回本場所初日～三日目】

第１５１回紙相撲本場所は年も明け早三週間が過ぎようとする１月１９日、新春にふさわしい雲ひとつない晴天に恵まれ、幕内と十両の初日から三日目までが都内は練馬国技館にて取り行われ、今年も賑々しく紙相撲の幕が開けた。

また本割前には各親方が見守るなか稽古総見も行われ、稽古の締めに横綱、大関がそれぞれ総当たりでのぶつかり稽古で胸を出し本番さながらに熱戦を繰り広げ充実した稽古総見となった。

↑総見では左差し中心で、取り口を変えたのかと周囲を驚かせた美空だったが、本割では真っ直ぐ攻め立てる横綱相撲で３連勝を飾った。

↓安定感では一番の春翔は前評判どおり危なげなく３連勝とした。

初日から三日目までが取り進み今年最初の場所で新春から３連勝で幸先の良いスタートを切ったのは、横綱美空富士、大関春ノ翔、平幕の四季嶋、鳥帽子岳、夢力、新入幕の千代鈴、照の王、綱嵐の八名。

なかでも場所前に勤続疲労を起こした両腕をリバビリして稽古総見に望んだ美空富士。最近の廻しに拘らない取り口とは変わって従来の鋭い左差しの相撲を見せるも「バランスを崩したかな？」と師匠の桐壺親方を心配させていた。

しかし、いざ本場所で蓋を開けてみれば他の親方からの「あくまでも稽古土俵でのぶつかり稽古だから…」の言葉通り、初日の新小結月山、二日目の出羽翼と勝間田部屋の新鋭二人を立会いからの鋭い出足であっさり退けると、三日目の磯昇戦でも相手に攻め入る隙を与えず寄り切りに降した。桐壺親方の心配を払拭する様な圧巻の内容で、昨年秋場所で取りこぼした賜杯を奪還すべく、余裕すら伺える横綱相撲を見せて３連勝で新春を好発進させた。

美空富〇（寄り切り）●月　山

また稽古総見では美空富士以上に好調さを見せていた桐壺部屋の二枚看板の大関春ノ翔も、初日の磯昇に続いて磯ノ海親方曰く元旦から猛稽古で鍛え直し、大関に昇進した頃の力強さに戻った感のある大神楽と磯ノ海勢を二日連続で撃破。

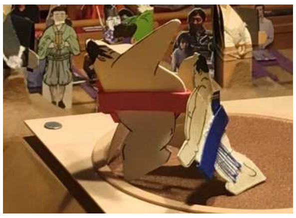
春ノ翔〇（寄り切り）●磯　昇

三日目の新鋭月山にも美空富士に負けず劣らずの危なげない内容で完勝し今場所も好調さをアピールした。横綱と共に四日目以降も優勝戦線を引っ張っていきそうだ。

一方、先場所久しぶりに終盤の十日目まで優勝争いを演じた西の横綱若ノ嶋。

土俵入りでは毎回恒例となった「今場所こそは優勝だっ！！！」との激励を受け挑んだ初日、分の良いはずの出羽翼に押し倒されまさかの初日から黒星発進。

気を取り直して迎えた二日目は新小結の月山を力強く押し倒しに降して星を五分に戻すも、三日目の若剣戦では立ち合い直ぐに左を差し万全の体勢になるも出足が続かず引き落としに敗れ序盤で早くも２敗を喫し厳しい状況で中盤戦を迎える。果たして四日目以降に巻き返しを見せる事が出来るか？



月　山●（寄り切り）〇若乃嶋

若乃嶋●（押し倒し）〇出羽翼

若乃嶋●（引き落し）〇若　剣

第151回本場所星取表

〇〇〇	美空富士	横綱	若乃嶋	●〇●
〇〇〇	春ノ翔	大関	魁電	〇●●
●〇〇	佐賀ノ海	関脇	源氏丸	●●●
●●〇	出羽翼	小結	月山	●●●
〇●〇	若剣	前１	支那虎	●〇●
〇●〇	大神楽	前２	磯昇	●〇●
〇●〇	英筱	前３	白閃光	●〇〇
〇●〇	朱雀湖	前４	四季嶋	〇〇〇
●〇●	剣竜	前５	生駒山	●●●
●●●	超刃	前６	虎風	〇●●
〇〇〇	鳥帽子岳	前７	虎剛力	●〇●
〇〇●	玄武岩	前８	夢力	〇〇〇
〇●〇	剛勇山	前９	角武蔵	●●●
〇〇〇	千代鈴	前10	若巨	●〇●
●●〇	寶蔵	前11	富士ノ花	●●〇
●〇〇	鳥海浪	前12	水晶嶽	●〇●
●●●	阿古耶川	前13	伊達富士	〇●〇
〇●●	大江錦	前14	照の王	〇〇〇
●●●	鬼ヶ嶽	前15	綱嵐	〇〇〇
〇〇〇	鹿富士	十１	龍不動	●〇〇
●●●	虎ノ國	十２	太刀鳳	〇●●
〇●●	葵盛	十３	若佑	〇〇●
●●〇	若柱	十４	櫻吹雪	〇〇〇
〇●〇	日向藤	十５	喜乃郷	〇〇●
●〇●	初戸	十６	桃乃洲	●●〇
〇〇〇	春雷	十７	槃ノ城	●●●
●●〇	黒雲海	十８	山辺	●●〇
〇〇〇	天我	十９	麒麟王	●〇〇
●●●	大樽	十10	三鷹	〇●●
〇〇〇	琴乃王	十11	冬牡丹	●〇●
〇●●	電幕	十12	菊の里	〇〇●
〇●〇	磯日ノ丸	十13	紅葉盛	●●●
●〇〇	西安	十14	雪若丸	●〇〇